

2017年度 助成一覧

1. 研究助成

		採択(申請)	助成金額
新規	自然科学	16件(29件)	1,985万円
	人文・社会科学	6件(17件)	750万円
	小計	<b>22件(46件)</b>	<b>2,735万円</b>
継続	自然科学	15件(15件)	1,845万円
	人文・社会科学	2件(2件)	245万円
	小計	<b>17件(17件)</b>	<b>2,090万円</b>
<b>採択合計</b>		<b>39件(63件)</b>	<b>4,825万円</b>

2. 研究者交流援助

		採択(申請)	援助金額
派遣	長期	4件(10件)	1,330万円
	短期	0件(2件)	0万円
招へい	長期	0件(3件)	0万円
	短期	1件(1件)	130万円
<b>採択合計</b>		<b>5件(16件)</b>	<b>1,460万円</b>

3. 国際学術交流援助

	援助件数	援助金額
国際研究集会援助	12件	600万円

2017年度助成総額 ( 1 + 2 + 3 ) 56件 6,885万円

1. 研究助成 採択者及び助成金一覧

(1) 新規

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
1	日本都市計画学会	ニシウラサダツグ 西浦定継	明星大学 理工学部 教授 (都市・地域計画)	経済のグローバル化のもとでのタイ 国・バンコク大都市圏の都市空間構造 の変貌と環境に配慮した質の高いイン フラ整備戦略に関する研究	165
2	日本都市計画学会	ナカムラフミヒコ 中村文彦	横浜国立大学 理事・副学長 (都市交通計画)	日米の公共交通指向型開発先進的事例 地域におけるその長期的効果の比較	125
3	日本建築学会	キムラ ヨシヒロ 木村祥裕	東北大学 未来科学技術 共同研究センター 教授 (耐震構造)	過去の巨大地震による大空間構造屋根 構造の被害に立脚した非構造部材の応 力伝達機構の解明と耐震設計法の確立	95
4	日本建築学会	スギノ ミナ 杉野未奈	京都大学大学院 工学研究科 助教 (耐震工学)	免震建物の擁壁衝突により生じるねじ れ挙動の解明と最大応答評価法の構築	165
5	日本建築学会	カスマタヒデアキ 勝又英明	東京都市大学 工学部 教授 (建築計画)	歴史的建造物の維持保全の持続可能性 に関する研究－寺院本堂と伝統的建造 物群保存地区等の指定建物を対象とし て－	70
6	日本建築学会	マンバラシゲキ 松原茂樹	大阪大学大学院 工学研究科 准教授 (建築計画)	社会的養護・障害者分野の社会福祉施 設の建築計画に関する史的研究	120
7	日本建築学会	イエン シュワ 厳 爽	宮城学院女子大学 生活科学部 教授 (建築計画)	精神科児童思春期病棟の空間モデルお よび環境評価マニュアルの作成に関す る実践的研究	75
8	農業農村工学会	キムラ マサオミ 木村匡臣	東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教 (農業水利学)	中山間地域におけるため池の多面的評 価指標の構築	175
9	日本海洋学会	シマダ ヨウイチ 嶋田陽一	水産大学校 海洋生産管理学科 助教 (海洋学)	風圧流が強い海洋ゴミの衛星追跡観 測：北米西海岸到着の可能性	75
10	日本火災学会	サノ トモリ 佐野友紀	早稲田大学大学院 人間科学学術院 教授 (建築防災)	大規模地下空間における歩行困難者の 一時避難待機場所を考慮した新しい誘 導灯の設置ガイドラインの検討	115

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
11	空気調和・衛生工学会	かぎ ナオキ 鍵 直樹	東京工業大学 環境・社会理工学院 准 教 授 (建築環境工学)	建築物室内における空気調和機からの汚染物質の発生機構	115
12	地盤工学会	かたか サツキ 片岡沙都紀	神戸大学大学院 工 学 研 究 科 助 教 授 (地盤工学)	低品質土の改良効果に着目した製鋼スラグの道路盛土材としての安定性評価に関する研究	160
13	地盤工学会	ツイ イ瑛	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准 教 授 (耐震工学)	細粒分流失に起因する河川構造物周辺地盤の劣化機構の解明と堤防安定性への影響の評価	155
14	土木学会	アオキ トシアキ 青木俊明	東北大学大学院 国際文化研究科 准 教 授 (都市・地域計画)	公共開発における普遍的紛争構造の解明と紛争の回避・解決策：ステークホルダー間の価値観相違の有無を超えて	100
15	土木学会	オオモトテルウ 大本照憲	熊本大学大学院 先端科学部 環境科学部門 教 授 (水工水理学)	開口部を有する河川横断構造物が河床変動、乱流構造および生態系に与える影響に関する研究	160
16	土木学会	キンダ キヨシ 岸田 潔	京都大学大学院 工 学 研 究 科 教 授 (岩盤工学)	熱-流体-力学-化学連成による不連続性岩盤のマルチフィジックスシミュレータの構築	115
17	東北大学 大学院 国際文化 研究科	シュ リン 朱 琳	東北大学大学院 国際文化研究科 准 教 授 (アジア政治思想史)	近代日本の中国学に関する総合的研究 — 知の編成・連鎖・再生産	105
18	東京大学 史料編纂所	タカハシイチロウ 高橋慎一郎	東 京 大 学 史 料 編 纂 所 教 授 (日本中世史)	琉球における真言宗の展開過程に関する研究	80
19	東京大学 史料編纂所	ハンセ アケミ 伴瀬明美	東 京 大 学 史 料 編 纂 所 准 教 授 (日本史)	東アジア諸王室における「后位」儀礼比較史の発展的研究	125
20	東京大学 生産技術 研究所	ヤシロ トモナリ 野城智也	東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所 教 授 (サステナブル建築)	包括的な地震対策推進に資する分野横断研究のための枠組の構築	225

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額 (万円)
21	筑波大学 人文社会系	シオヤ アキフミ 塩谷哲史	筑波大学 人文社会系 助教 (歴史学)	アラル海流域における水利の在来知に関する研究	95
22	筑波大学 システム 情報系	アリタ トモカズ 有田智一	筑波大学 システム情報系 教授 (都市計画)	公共貢献型都市開発の課題と今後の展開可能性ー日本・アメリカ・イギリスの比較研究	120
研究助成（新規） 計 2 2 件					<b>2,735</b>

## (2) 継 続

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
1	日本都市計画学会	カワサキユウタ 川崎興太	福島大学 共生システム理工学類 准教授 (都市計画)	原発避難12市町村の復興まちづくりに 関する研究	120
2	電気学会	フクヤママサミ 福間真澄	松江工業 高等専門学校 教授 (電気電子材料)	木炭EDLCのエネルギー密度の改善と 4kWh家庭用蓄電システム	115
3	日本建築学会	イマトケイイチ 今本啓一	東京理科大学 工学部 教授 (建築材料)	全量を産業副産物とした次世代型構造 材料の鉄筋コンクリート部材への展開	120
4	日本建築学会	アカマツカズエ 赤松加寿江	京都工芸繊維大学 大学戦略推進機構系 講師 (建築史)	テロワールからみた都の領域史研究： 京都とパリ	120
5	日本建築学会	タジタヒロ 田路貴浩	京都大学大学院 工学研究科 准教授 (建築論)	京都の旧市街周縁部における都市形成 過程と土地所有	135
6	日本建築学会	カイハラルコ 開原典子	国立保健医療科学院 生活環境研究部 主任研究官 (建築環境学)	室内湿度環境管理による皮膚乾燥疾患 の予防と改善に関する基礎的検討	110
7	日本音響学会	サカモトシンイチ 坂本慎一	東京大学 生産技術研究所 准教授 (応用音響工学)	都市環境騒音マップ作成のための騒音 原単位の定量調査	125
8	空気調和・衛生工学会	タカタ ヒロシ 高田 宏	広島大学大学院 教育学研究科 准教授 (建築環境学)	動的負荷算定法に基づく給湯・給水シ ステムの最適設計手法の確立	160
9	土木学会	ハシモトカオ 橋本隆雄	国士舘大学 理工学部 研究員 (耐震工学)	文化的遺産である熊本城石垣の修復の ための研究	150
10	土木学会	ホンダリキ 本田利器	東京大学大学院 新領域創成 科学研究科 教授 (地震工学)	テイルリスクに着目したインフラ維持 管理戦略策定手法の実装に向けた基礎 技術の開発	85

No.	推薦組織・機関	氏名	所属機関・職名	研究課題	助成金額(万円)
11	土木学会	リ 李 チュンフ 李 春鶴	宮崎大学 工学教育研究部 准教授 (コンクリート工学)	コンクリート床版の補修・補強における新しい材料の開発とその性能評価	145
12	農業農村工学会	ヤマモトハルヒコ 山本晴彦	山口大学大学院 創成科学研究科 教授 (地域環境学)	洪水浸水想定地域に立地する老人福祉施設における洪水リスクの評価	115
13	地盤工学会	ソンドウアキヒコ 近藤明彦	海上・港湾・航空 技術研究所 研究官 (地盤工学)	応力発光現象と屈折率整合法の応用による地盤内の任意断面における応力分布可視化手法の開発	75
14	日本化学会	ニフヤマサトミ 庭山聡美	室蘭工業大学大学院 工学研究科 教授 (有機化学)	水を主溶媒とする対称化合物の新規非対称化反応とその機能性高分子合成への応用	150
15	日本火災学会	モリヤマシュウジ 森山修治	日本大学 工学部 教授 (建築設備)	中小規模高齢者居住施設に適した火災時人命安全計画手法の開発研究	120
16	大阪大学	ハヤシ ユカ 林 由華	大阪大学大学院 文学研究科 招へい研究員 (言語学)	宮古語池間方言と八重山語波照間方言における無声鼻音の研究	105
17	京都大院 文学研究科	スギウラカズコ 杉浦和子	京都大学大学院 文学研究科 教授 (人文地理学)	清代「精絵八旗布防系北京図」の保全と活用に向けた悉皆調査とデータベース構築	140
研究助成（継続） 計 17 件					2,090

研究助成	合計 39 件	4,825
------	---------	-------

2. 研究者交流援助採択者及び援助金額一覧

研究者海外派遣援助

No.	推薦 組織・機関	氏名 所属機関・職名	研究課題	派遣先	派遣期間	援助金額 (万円)
1	東京大学 生産技術研究所	高橋 朋子 東京大学 生産技術研究所 特任助教	ラマン分光分析を応用した マイクロプラスチックの深 海その場化学イメージング 手法の開発	イギリス (サウサンプト ン大学)	2018.04.01 ～ 2019.03.31 (365)  (長期)	340
2	東京大学大学院 工学系研究科	菊池 由佳 東京大学 工学部 助教	エンジニアリングモデルを 用いた浮体式洋上風力発電 所の経済最適化	オランダ (デルフト工科 大学)	2018.05.01 ～ 2019.03.31 (335)  (長期)	310
3	京都大学大学院 工学研究科	澤村 康生 京都大学大学院 工学研究科 助教	杭頭部に地盤改良を施した 複合群杭基礎の液化化対策 効果に関する研究	アメリカ (カリフォルニ ア大学)	2018.10.01 ～ 2019.09.30 (365)  (長期)	340
4	東京大学 社会科学研究所	齋藤 哲志 東京大学 社会科学研究所 准教授	予防原則をめぐる法過程： フランスにおける携帯電話 基地訴訟を素材として	フランス (パリ第14大 学)	2018.09.15 ～ 2019.09.14 (365)  (長期)	340
派遣 計 4件						1,330

外国人研究者招へい援助

No.	申請者		研究課題	招へい研究者	期間	援助 予定額 (万円)
	推薦 組織・機関	氏名 所属機関・職名		氏名(国籍) 所属機関・職名		
1	京都大学大学院 工学研究科	大谷 眞 京都大学大学院 工学研究科 准教授	公共／プライベート建築空 間における音響設計のため の可聴化システムの開発	ブライアン・ カツ (フランス) ピエール&マ リー・キュリー 大学 上席研究員	2018.07.30 ～ 2018.09.30 (63日)  (短期)	130
招へい 計 1件						130

研究者交流援助 合計 5件 1,460

3. 国際学術交流援助(国際研究集会援助) 採択者及び援助金額一覧

No.	会 議 名	期 間	開催地	申 請 者 (組織委員会委員長等)	援助 金額 (万円)
1	第6回光誘起相転移国際会議	17. 6. 4 ～ 6. 9	宮城県	東北大学大学院理学研究科 教授 岩井 伸一郎	50
2	第2回自動運転に関する国際ラウンドテーブル	17. 6. 8 ～ 6. 9	名古屋市	名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 原口 哲之理	50
3	第2回アジア永久凍土会議	17. 7. 2 ～ 7. 6	札幌市 (北海道大)	北海道大学地球環境科学研究所 准教授 石川 守	50
4	第2回「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」円卓会議 ー 蒙古来襲と13世紀モンゴル帝国のグローバル化ー	17. 8. 7 ～ 8. 10	北九州市	桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群 教授 李 恩民	50
5	MRS国際連合・先端材料国際会議 2017シンポジウムA-4「酸化物磁性薄膜およびヘテロ構造」	17. 8. 27 ～ 9. 1	京都市 (京都大)	京都大学大学院工学研究科 教授 田中 勝久	50
6	IUPAC 第17回高分子錯体国際会議	17. 8. 28 ～ 8. 31	東京 (早稲田大)	早稲田大学理工学術院 教授 小柳津 研一	50
7	文化とコンピューティング国際会議2017	17. 9. 10 ～ 9. 12	京都府 (同志社大)	同志社大学文化情報学部 教授 金 明哲	50
8	第11回日韓中西洋古代史シンポジウム	17. 9. 14 ～ 9. 16	東京 (早稲田大)	敬愛大学国際学部 教授 田村 孝	50
9	山岳における大気化学・物理国際研究シンポジウム	17. 11. 6 ～ 11. 10	静岡県 御殿場市	埼玉県環境学国際センター 総長 畠山 史郎	50
10	宇宙・太陽・地球物理におけるヘリシティ研究会	17. 11. 19 ～ 11. 23	東京 (東京大)	東京大学生産技術研究所 助教 横井 喜充	50
11	風関連災害国際ワークショップ	18. 3. 11 ～ 3. 14	仙台市 (東北大)	東北大学大学院工学研究科 教授 植松 康	50
12	<多様性>の促進：人の流動、創造性、文化的包含	18. 3. 17 ～ 3. 18	東京 (立教大)	立教大学異文化コミュニケーション学部 教授 河合 優子	50
(予算 50万円×12件=600万円) 国際研究集会援助 合計 12件					600